

総合学習「中庭を改造して、3 - 1 ○ ○ ○ ○ 広場をつくろう」の内容

(1) 領域と内容について

課題・・・児童の興味・関心に基づく課題 * 横断的、総合的な課題 * 地域や学校の特色に応じた課題
領域・・・生産（環境・福祉・世界・情報・健康・成長・生産・ふるさとの8領域） 生産の内容 中学年～もの作りや空間づくりなどに関心をもち、その方法に気付き、楽しく潤いのある生活の在り方について考え、自分にできることを実践しようとする。 高学年～身近な経済活動に関心をもち、それらの仕組みに気付き、自分の生活とのかかわりについて考え、よりよい生産・消費生活を目指して活動しようとする。
具体的な内容 <u>生活空間～自分たちの空間に安らぎや楽しさを感じ取り、よりよい生活空間をつくり出す。</u> <u>飼育・栽培～動植物に関心をもち、それらの生命のすばらしさを感じ取り、生き物を大切に<u>にする。</u></u> <u>労働～働くことの意義を感じ取りながら、様々なものがつくり出されることに楽しみを見いだしながら働く。</u> <u>製作～物を作ることの楽しさを感じ取り、進んでもの作りに取り組む。</u>
環境の領域の具体的内容の二つについても間接的に扱っていることになる 環境領域 中学年～身近な環境に関心をもち、そのよさや問題点に気付き、自分たちの生活とのかかわりについて考え、自分にできる方法で環境を守り、よりよい環境をつくろうとする。 具体的な内容 動植物～動植物の生態や特性、生育環境などについて考え、自然の加奈で生きる命を大切に<u>にする。</u> リサイクル～消費生活中で排出されるゴミについて考え、有効利用する。
情報領域の具体的内容についても間接的に扱っていることになる 情報領域 中学年～身の回りの情報に関心をもち、自分に必要な情報を収集・選択肢、自分の生活に役立てるとともに、相手の思いや願いを受け止めながら、自ら情報を発信しようとする。 具体的な内容 情報生活～身の回りの情報に関心をもち、自分に必要な情報を収集・選択・整理し、自分の生活に生かすとともに、自ら責任のある情報を発信する。

単元の目標

- より楽しく安らげる空間をつくり出すために、互いのアイデアを出し合いながら、協力して、飼育活動や製作活動に粘り強く取り組むことができるようにする。
- 不要品などを有効利用したり、動物や昆虫を飼育したりして、自分の願いに叶った空間を作りだしていくよさを感じ取れるようにする。

(2) 評価規準について

生産領域の評価規準(中学年・上○)と単元の評価規準(下●)

- 関心・意欲・態度(生活の中にある対象に主体的にかかわっていかこうとする構え)
ものづくりや空間づくりなどに関心をもち、自分の生活をより楽しくより豊かにするための方法を考え実践する。

- 中庭づくりに関心をもち、楽しい遊びや飼育活動を考え、協力して進んで取り組む。
 - ・アイデアを出せたか？
 - ・遊び場作りや飼育活動を楽しく行っているか？
 - ・協力して進んで取り組んでいるか？

- 学び方(生活の中にある対象を追究したり、わかったことを表現したりする方法)
ものづくりや空間づくりから問題を見だし、アドバイスを聞いたり、自分で実際に作ってみたりする。

- よりよい中庭づくりのために、畜産・飼育の専門の人や森林組合の人にアドバイスを聞いて、自分で実際に飼育、製作してみたり、幼稚園を招待して遊んだりする。
 - ・大人の人に交渉することができたか？(直接話す・電話連絡する・手紙を出す)
→校長先生、生活科の先生、幼稚園の先生、農業大学の畜産部長さん
グルーミングスクールの先生、森林組合の先生、
 - ・お世話になった人に感謝の気持ちを伝えることができたか？(言葉、礼状)
→同上
 - ・招待状やポスターを出すことができたか？(幼稚園年長、教育実習生、教室)
→一人2枚の招待状か1枚の招待状+ポスター
 - ・遊び方や飼育の仕方(ふれあい方)について説明書が書けたか？
→場の運営の仕方も含める
 - ・試行錯誤しながらの飼育、制作活動ができたか？

- 見方・考え方(生活の中にある対象への意味づけ方)
ものづくりや空間づくりの方法に気付き、ものや空間などをつくり出すよさについて考える。

- 中庭づくりの方法気付き、楽しい中庭をつくり出すよさについて考える。
 - ・遊びや飼育活動を行う理由が言えるか？
 - ・生命あるものをみんなで大切にしようとする気持ちが持てたか？
 - ・みんなで協力して粘り強く活動することのよさを感じることができたか？

内容表現をそのまま用いて評価規準にすると(関心・意欲・態度、学び方、見方・考え方)
もの作りや空間づくりなどに関心を持ち、その方法に気付き、楽しく潤いのある生活の
在り方について考え、自分にできることを実践しようとする。

単元の目標表現をそのまま使うと

- より楽しく安らげる空間をつくり出すために、互いのアイデアを出し合いながら、協力して、飼育活動や製作活動に粘り強く取り組むことができるようにする。
- 不要品などを有効利用したり、動物や昆虫を飼育したりして、自分の願いに叶った空間を作りだしていくよさを感じ取れるようにする。

(3) 総合学習と道德の時間の関連

● 内容面の関連

総合学習	道德の時間
● 中庭づくりに関心を持ち、楽しい遊びや飼育活動を考え、<u>協力して進んで取り組む</u>。 ● よりよい中庭づくりのために、畜産・飼育の専門の人や森林組合の人にアドバイスを聞いて、自分で実際に<u>飼育、製作</u>してみたり、幼稚園を招待して遊んだりする。 ● 中庭づくりの方法気付き、楽しい中庭をつくり出す<u>よさ</u>について考える。	1 - (3) 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。 → 自分がやらなければならないことではなく、更に自主性を発揮し、自分でやろうと決めたことに対しても積極的に取り組み、粘り強くやり遂げる精神を育てることが大切である。教師の励ましや賞賛が重要になる 4 - (2) 働くことの大切さを知り、進んで働く。 → 働くことの楽しさや喜びの体験を積むことによって、力を合わせて仕事をするものの大切さを理解し、進んで働くとする態度を育てる 3 - (1) 自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にする。 → 自然に親しみながら自然のもつ美しさやすばらしさに感動するとともに、その恐ろしさや不思議さなども感じ取れるようにする必要がある。それらを踏まえて更に動植物を大切にする心を深めていくことが重要 3 - (2) 生命の尊さを感じ取り、命あるものを大切にする。

	→現実性をもって死を理解することができる時期に入る。自分の生命の十と差を知り、同様に生命あるものすべてを大切にしようとする心を育てることが重要
--	---

【複数の道德の時間の（内容面の）関連】

○

● 方法面の関連

総合学習	道德の時間
【道德の時間から総合の持ち込むこと】 ○ 道德の時間に扱った価値を実現している子供を価値付け、賞賛する。 → 1 - (3) 根気 4 - (2) 勤労 3 - (1) 動植物愛護 3 - (2) 生命尊重 → 具体的行動、事実でほめる ○ 主人公の話を時々持ち出す。 ○	【総合から道德の時間に持ち込むこと】 ○ 導入で総合の時間で感じている不安や悩みを取り上げる ○ 導入で総合学習の活動の様子を提示する ○ 展開で自分の総合学習での体験を関連づけて思考、表現する。 ○ 終末でこれから行われる総合学習の活動を提示する。

【複数の道德の時間の（方法面での）関連】

- 主人公を同じ人にする。（今回は行っていない）
- 同じ読み物（長編）を連続して使う。
- 同じ種類の資料（例えば、同じ作者の詩など）を連続して使う。
- 「心の樹」など記録用のワークシートを連続して使う。